

皆さんこんにちは。

学生クラス幹事ブログの第二回目は、地球資源学科2年の七尾純平がお伝えします。

今回は、8月6日に行われた秋田竿灯まつりについてご紹介したいと思います。

当日お祭りを見に行った方もいらっしゃるかと思います。

私は秋田県に生まれながら、今回初めて見に行きました。

大勢の観客を前にして、差し手が操る竿灯がしなる様子は、まさに秋の稲穂のように幻想的でした。

中でも素晴らしかったのは、お祭りの参加者と観客が「ドッコイショー、ドッコイショ！」と掛け声を合わせ

一体感の持てるお祭りであったことです。

我が秋田大学の竿灯も参加し、事務局長の神谷教授自らが提灯を持ち、お祭りを盛り上げていました。

秋田大学の学章の付いた提灯は、差し手によって高く掲げられ、一際輝いていました。

続きまして、オリジナルグッズの進捗状況についてです。

現在、生協と共同でオリジナルクッキーのデザイン等を決定し、販売に向けて協議を重ねている状態です。

今年は例年以上の猛暑と言われております。

皆さんもお体にお気をつけて夏をお過ごしください。

地球資源学科2年 七尾純平



秋田県立大学校舎前では秋田県立大学のまはは輝いていました。



左側が白屋の終真ん中が両国を撮影を担当した北川君、右が神谷教授です。